

子どもの権利を守るのは

孫の思いに添えてやれなかった自分を後悔し、せめて物語の中でその願いを叶えたいと一冊の絵本を作りました。

孫が三歳の時の事です。孫と娘と三人でショッピングモールに行きました。店内では、お兄さんが色とりどりの長い風船で花や動物を作っていました。見事なその様子に魅せられた孫は列の最後尾に並び順番を待ちます。ふと見ると、風船を器用に操るお兄さんの隣には「ひとりひとつです」と書かれた看板。そのことを伝え、二個はだめだよと話しました。

そして、水色のうさぎを作ってもらった孫はとても嬉しそうに、そのふうせんうさぎを食事にも買い物中も離さず、共に時間を過ごしました。

ところが、帰る時間になった時、「おにいさんのところにいきたくない」と突然言い出したのです。私は、「ひとりひとつという決まりだからだめだよ」と言い、娘も、わがままを言わないのとたしなめました。何度も私たちにせがむ孫を半ば強制的に車まで連れて行きました。何も喋らず、発車してもなお悲しそうな孫の様子。もう聞き分けなさいねと言う



毎月11日は「人権を確かめ合う日」
ご意見は人権・男女共同参画推進室(☎63-7909)へ

私に、孫はふうせんうさぎを両手に抱き、「この子の家族をつくってもらいたかった」と言っていて泣きだしたのでした。

「一人では寂しそうなふうせんうさぎのためにどうしたらよいか」を考えた、その寄り添う気持ちをはめました。時が経った今でも、幼心に寄り添えなかった自分を悔いています。

孫のために作った絵本の最後のページには、水色と紫色のふうせんうさぎが仲良く並んで笑っています。幼心の感性がこれからも豊かに成長してくれるように、接する私の感性や人権感覚が鈍らないように、磨き続ける努力を重ねていきます。

「放課後児童クラブ」の補助員を募集(学生可)

放課後児童クラブで、宿題や遊びの見守り、読み聞かせなどの支援をしていただけませんか。
登録資格 18歳以上(高校生は除く)
登録方法 市販の履歴書に写真を貼り、郵送または市役所1階子ども家庭室(〒518-0492 鴻之台1-1)へ ◎詳しくは問合せ先へ

☎ 子ども家庭室 ☎ 63-7594

「認知症の人と家族の会」つどい・交流会

日時 4月26日(火) 午後1時30分~4時
場所 伊賀市役所(伊賀市四十九町)
対象 認知症の人とその家族 参加費 200円
※認知症の人は無料。家族の会会員は100円。
申込不要。認知症の人が参加する場合は、事前に問合せ先へ

☎ 地域包括支援センター ☎ 63-7833

男女共同参画情報紙「つうしん」編集員を募集

市男女共同参画センターが発行する男女共同参画情報紙「つうしん」の編集員を募集します。

対象 市内在住・在勤・在学の18歳以上の人(情報紙発行月(偶数月)前後の平日に実施する編集会議や現地取材に参加いただける人)
※取材は、職員が同行します(謝礼あり)。

募集人数 1人 任期 令和5年3月末まで
応募 4月19日(木)までに、「つうしん」を読んで、男女共同参画について感じたことなどについての作文(800字程度)を提出。詳しくは、市HPか問合せ先へ



「つうしん」は、市民センターなどに設置。市HPでも閲覧可。男女共同参画に関するニュースやイベント、「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性を紹介する記事を掲載しています。

☎ 人権・男女共同参画推進室 ☎ 63-7559

登下校時の見守りや除草、クラブ活動への支援など「学校生活支援ボランティア」を随時募集しています

登下校時の見守りや校舎の補修・除草、学校図書館・クラブ活動・教科学習への支援など、地域の皆さんの経験や知識・特技などを学校教育に生かしていただく「学校生活支援ボランティア」を随時募集しています。地域ぐるみで子どもたちを育てていきましょう!

◎詳しくは、問合せ先へ
☎ 学校ボランティア室(教育センター内) ☎ 64-8864

病気やけがで輸血が必要な人のために！ 献血にご協力ください 年間予定のお知らせ

血液は、人工的につくることができず、長期間にわたって保存することもできません。安定的に輸血用の血液を供給するため、献血へのご協力をお願いします。
開催日 4月27日(火)、8月24日(火)、11月(日時未定)、令和5年1月6日(金)

受付時間 午前10時~午後0時30分、午後2時~4時
※4月27日は午前10時~11時30分、午後1時~3時30分

場所 名張市役所
☎ 保健センター ☎ 63-3913

- ◎ 11月の献血推進の日は「とれたて!なばり」イベント時に開催(受付時間:午前10時~正午、午後1時30分~3時30分)
- ◎ 8月10日(火)にサマー献血キャンペーン、2月8日(火)にウィンター献血キャンペーンを開催予定(場所未定)
- ◎ 献血キャンペーン・献血推進の日は、県伊賀保健所による骨髄バンク登録の窓口が設置されます。

地域がもっと、おもしろくなる!

omo-local 通信

オモ・ローカル vol.6

暮らしが豊かになっていくような、わくわく・おもしろい地域の取組をピックアップ!

☎ 地域経営室 ☎ 63-7484

暮らしを守る「蔵清水の井戸」

蔵持市民センターの敷地内には、住民が利用する井戸があります。その名も「蔵清水(くらしみず)の井戸」。蔵持のきれいな水、災害時の暮らしを守るという意味が込められています。

地域で、災害時は「水の確保が重要ではないか」と話し合わせ、井戸を掘りあげました。汲み上げた井戸水は、定期的に水質検査を行っており、雑菌もなく、豊富な水量もあるため、普段から地域の皆さんや近隣のパン屋さんなどにも利用していただいています。

昨年は、住民交流の場として市民センター内にカフェスペース「蔵清水カフェ」を開設。このカフェにも井戸水を活用して、利用者によるセルフ方式の運営が好評です。



災害時、住民の生活用水として利用



きれいな井戸水を利用したカフェ